

土木学会 見える化データ2022

土木学会は2024年に創立110周年を迎える公益社団法人です。個人会員数は約38,000人、その多くはさまざまな産官学の組織に所属する土木技術者です。

土木学会には小委員会を含め400以上の委員会が設置され、多くの学会員が参加して活発に活動しています。

この「見える化データ」は、土木学会の活動に関する数値データを整理したものであり、本資料はその一部についてビジュアルで紹介したものです。

開かれた学会としてより良い方向へ発展し続けるため、学会の実態を多くの皆様にご覧いただき、学会の活性化のため忌憚のないご意見をいただきましたら幸いです。

会員構成

- ◆ 会員数の推移
- ◆ 会員構成
- ◆ 女性会員
- ◆ 年齢構成
- ◆ 業種別会員数
- ◆ 支部別会員数・属性別構成比

会計

- ◆ 収支
- ◆ 会費収入使途

行事

- ◆ 全国大会
- ◆ 年次学術講演会
- ◆ 調査研究行事

刊行物

- ◆ 論文集（通常号）
- ◆ 論文集（特集号）
- ◆ 刊行物
- ◆ 売上部数ランキング

技術者教育

- ◆ 土木学会認定土木技術者
申込者・合格者・認定者
- ◆ CPD認定プログラム
分野
開催地

広報発信

- ◆ 記者発表件数
- ◆ メディア掲載件数

土木学会SNS



土木学会の目的（定款第3条）

学会は、

土木工学の進歩及び

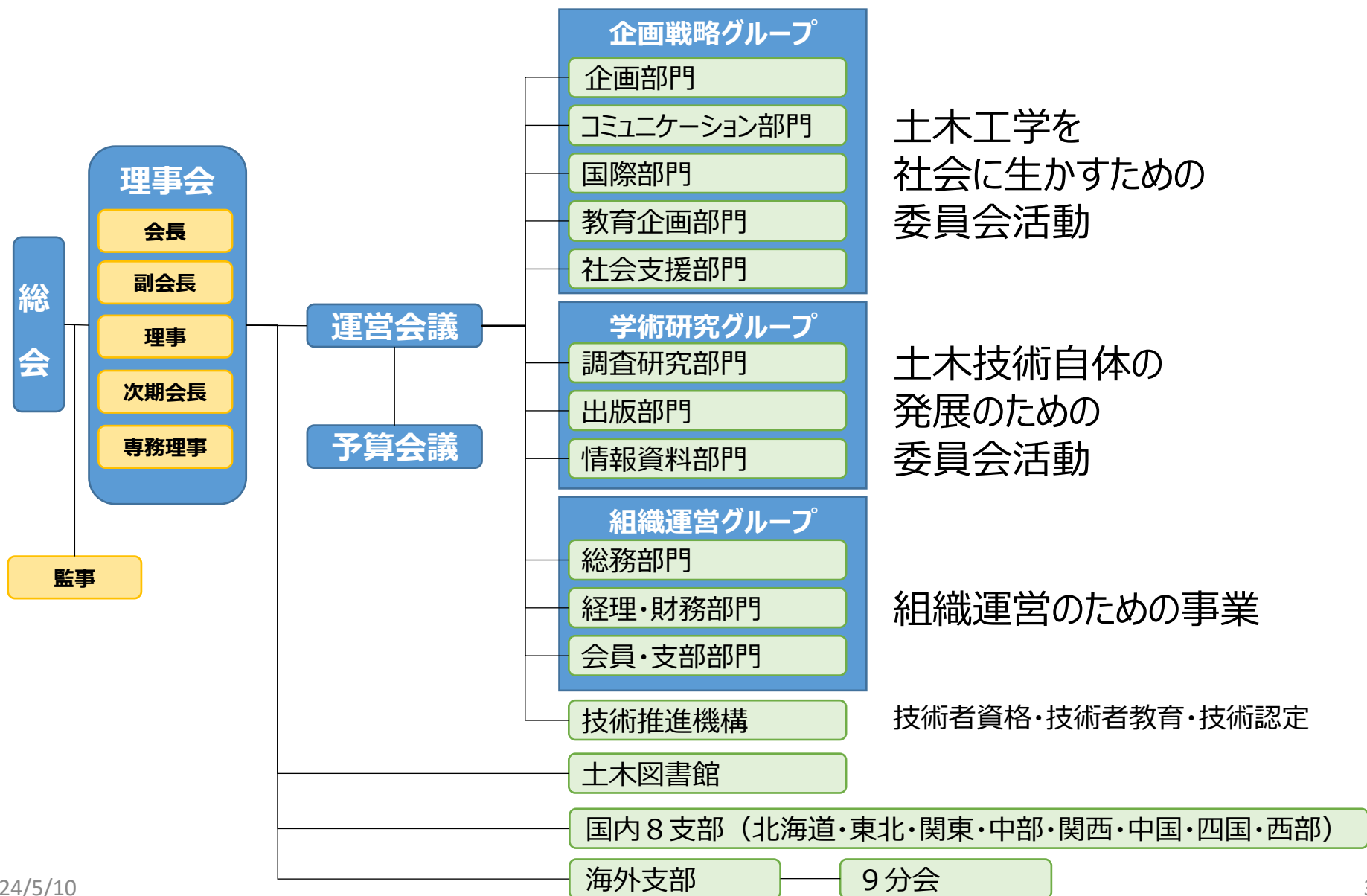
土木事業の発達並びに

土木技術者の資質の向上を図り、もって

学術文化の進展と社会の発展に寄与する

ことを目的とする。

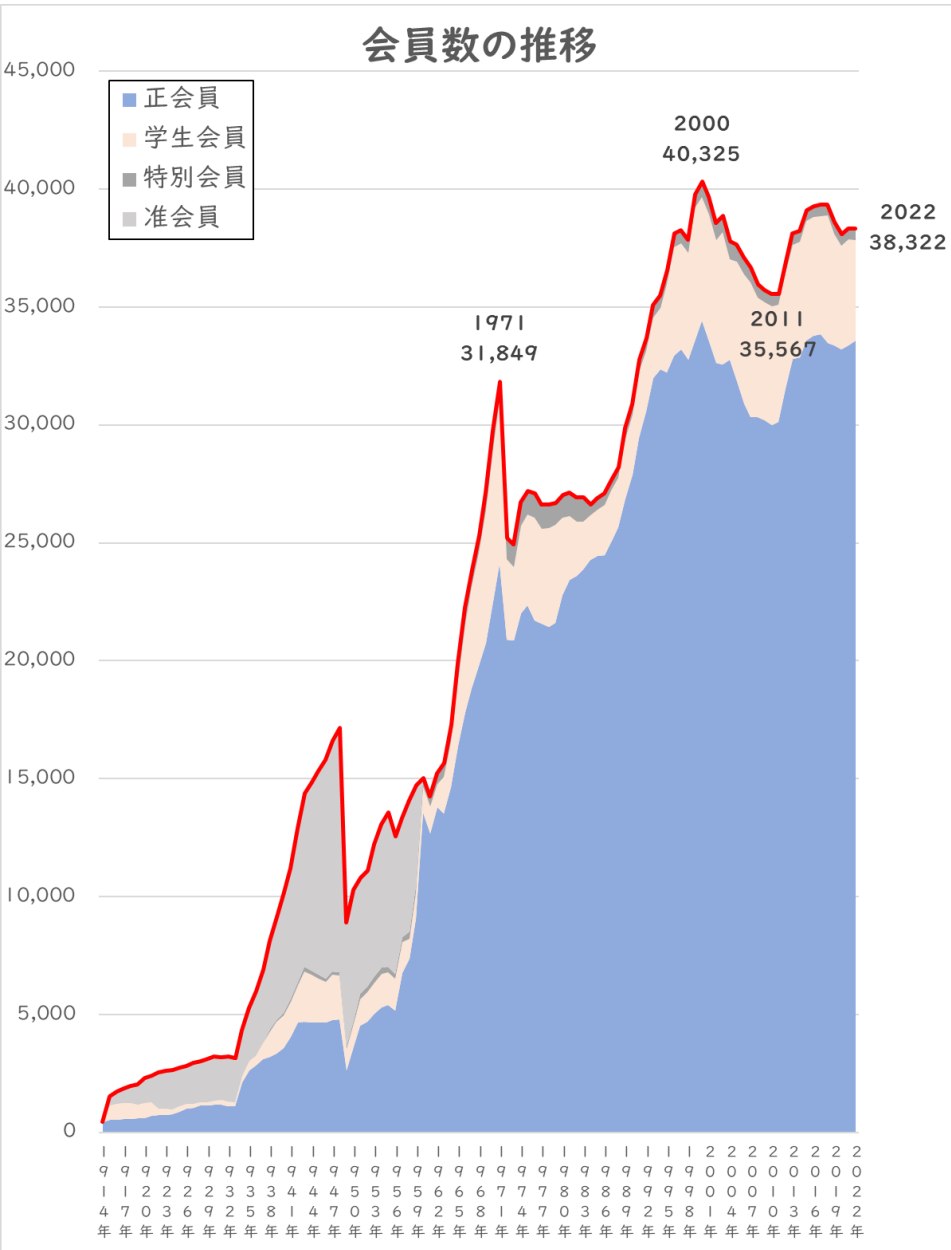
土木学会の組織図 (2024.3)



会員構成

- ◆ 会員数の推移
- ◆ 会員構成
- ◆ 女性会員
- ◆ 年齢構成
- ◆ 業種別会員数
- ◆ 支部別会員数・属性別構成比

会員数の推移



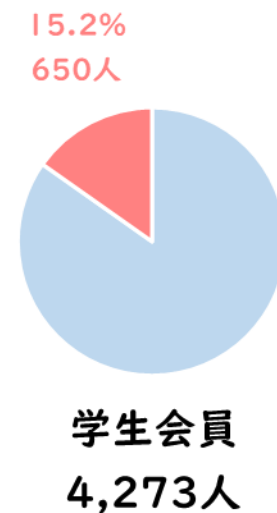
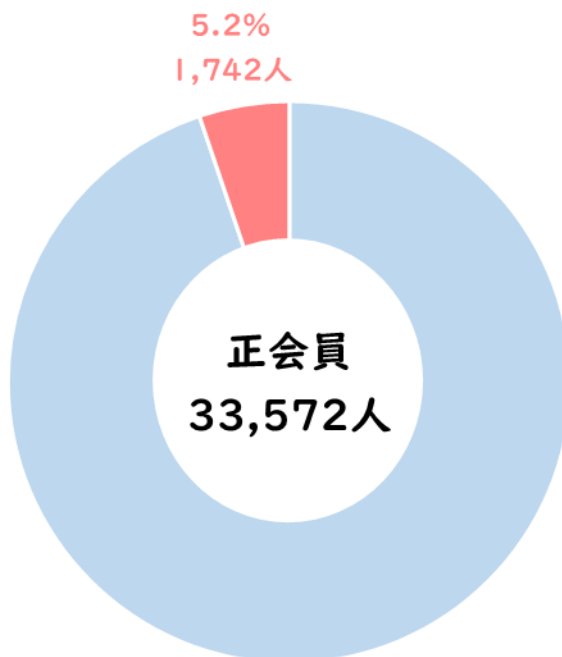
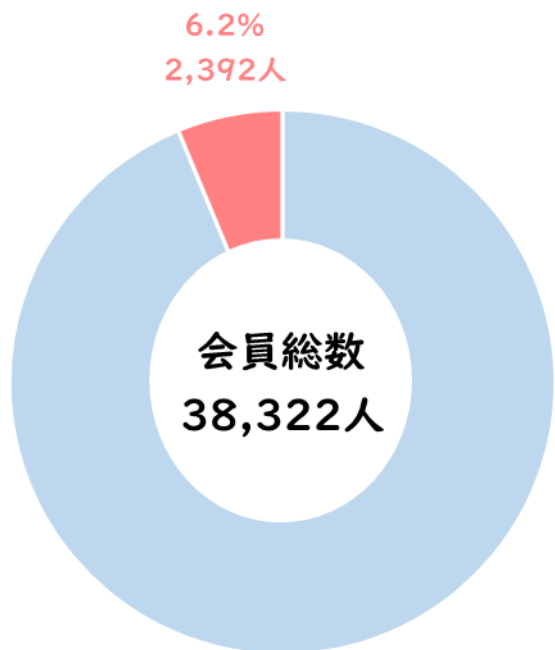
- ◆ 2022年度末時点での会員数は **3.83**万人
- ◆ ピーク時の会員数は **4.03**万人（2000年度末）
- ◆ 2000年以降、減少傾向だったが 2011年度末から反転
- ◆ コロナ禍において再び減少したが 再び回復傾向にある



最新の会員数・会員構成

<https://committees.jsce.or.jp/member/composition>

会員構成（2022年度）



◆会員総数に対する女性会員は約6%

会員総数（正会員＋学生会員＋特別会員）

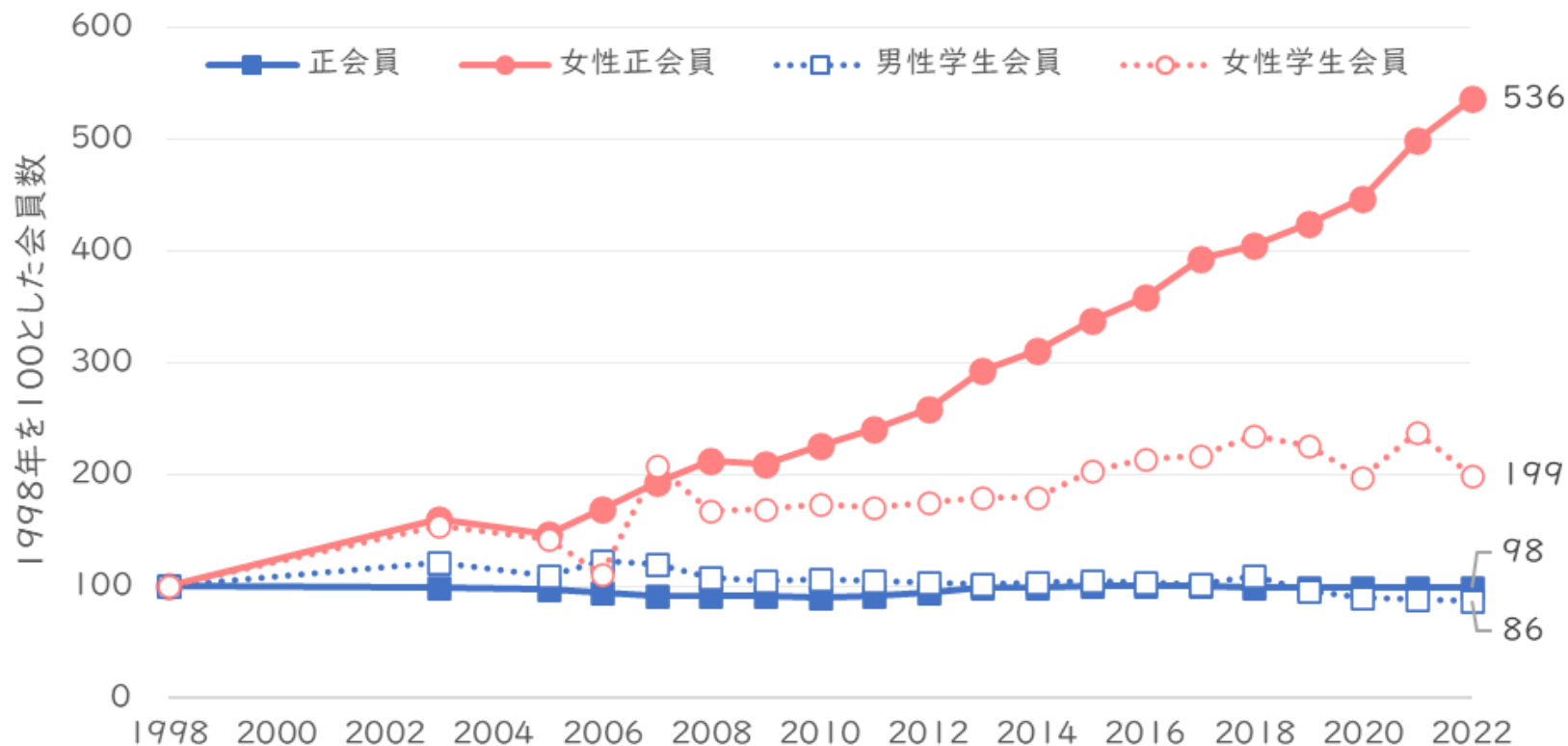
正会員（個人正会員＋法人正会員）



最新の会員数・会員構成

<https://committees.jsce.or.jp/member/composition>

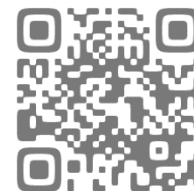
女性会員



◆男性会員は横ばい

◆女性会員は大幅に増加

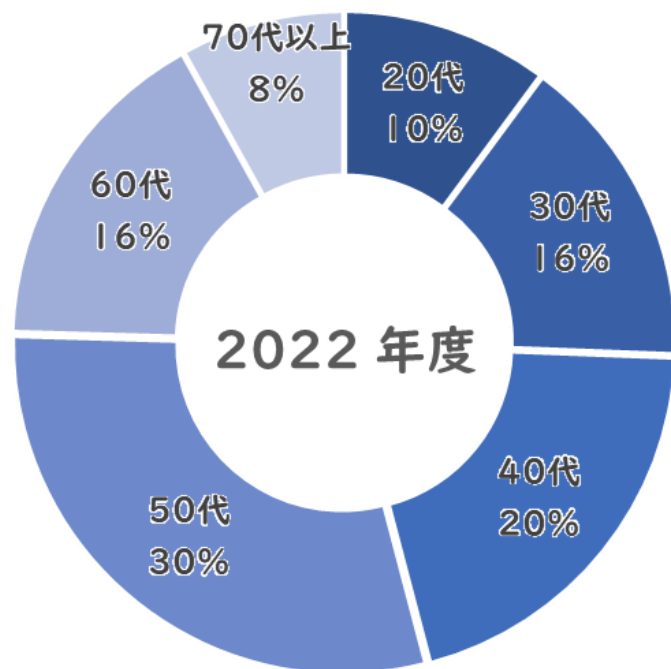
1998年を100として、女性正会員は**536**、女性学生会員は**199**



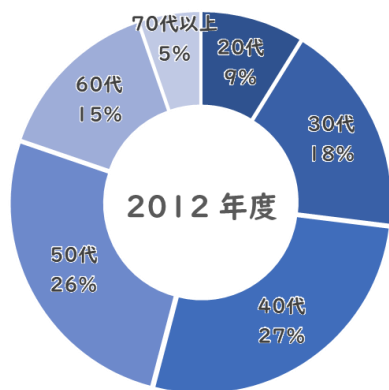
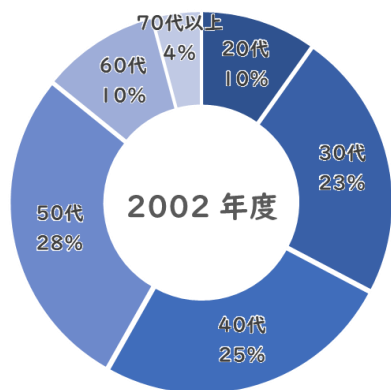
最新の会員数・会員構成

<https://committees.jsce.or.jp/member/composition>

年齢構成



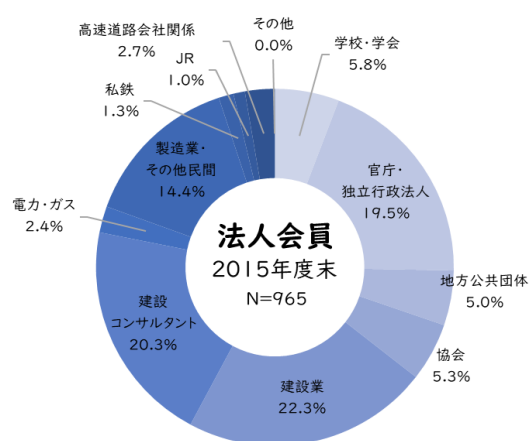
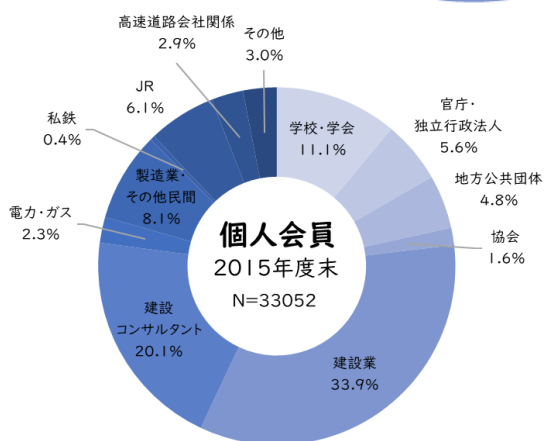
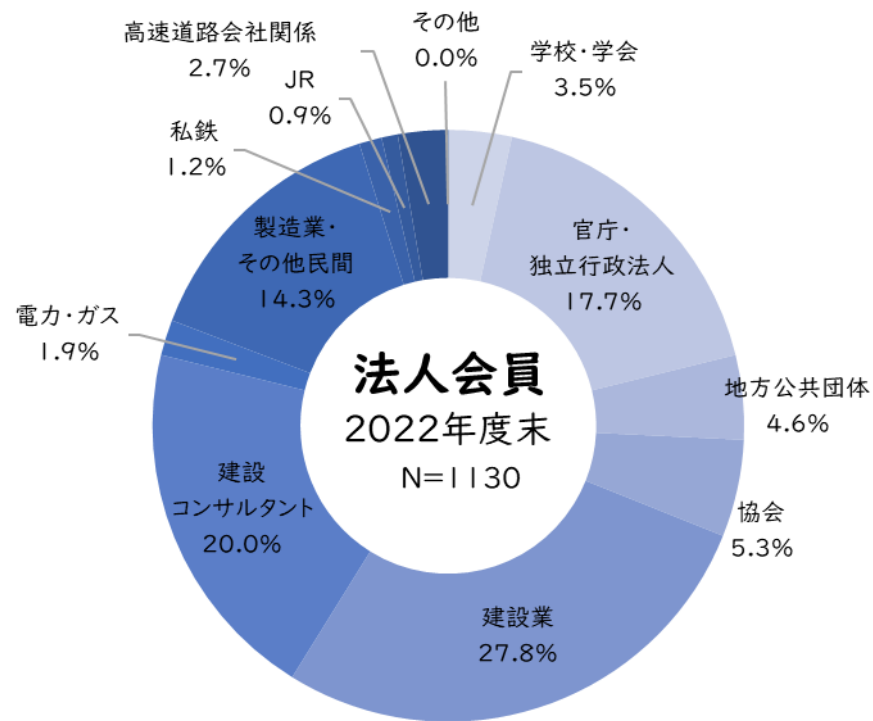
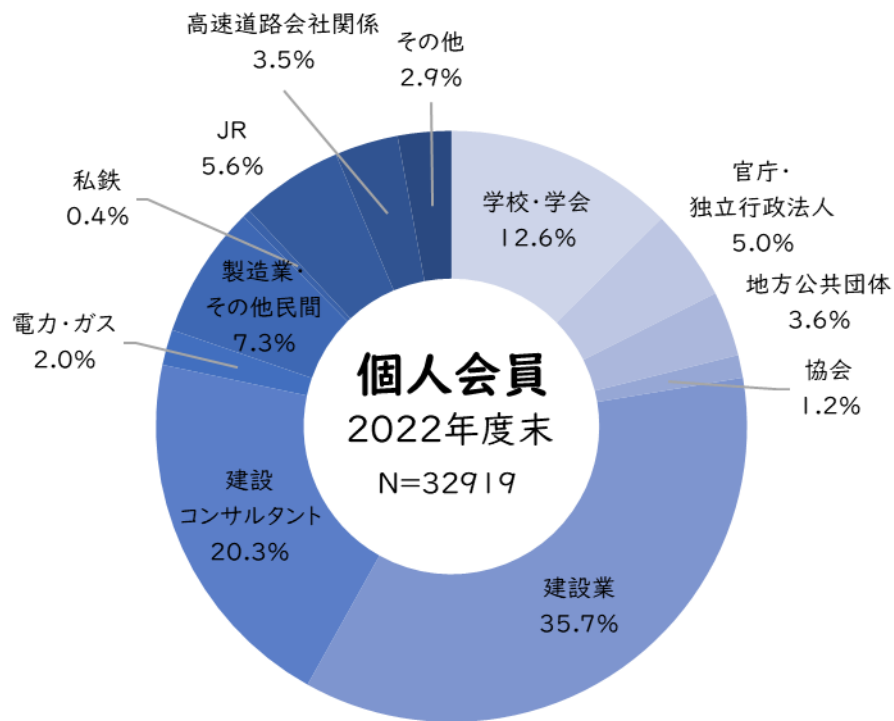
- ◆ 正会員の過半数が**50代以上**
- ◆ 30代以下の構成比は年々減少



最新の会員数・会員構成

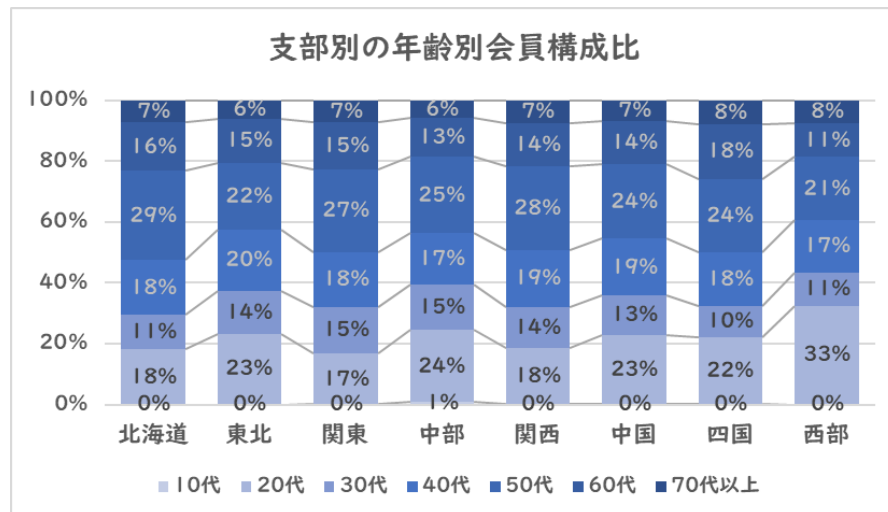
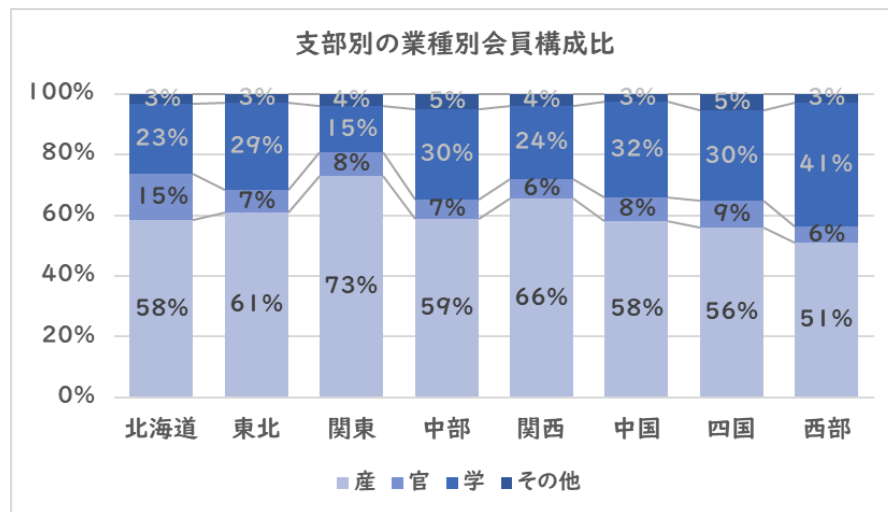
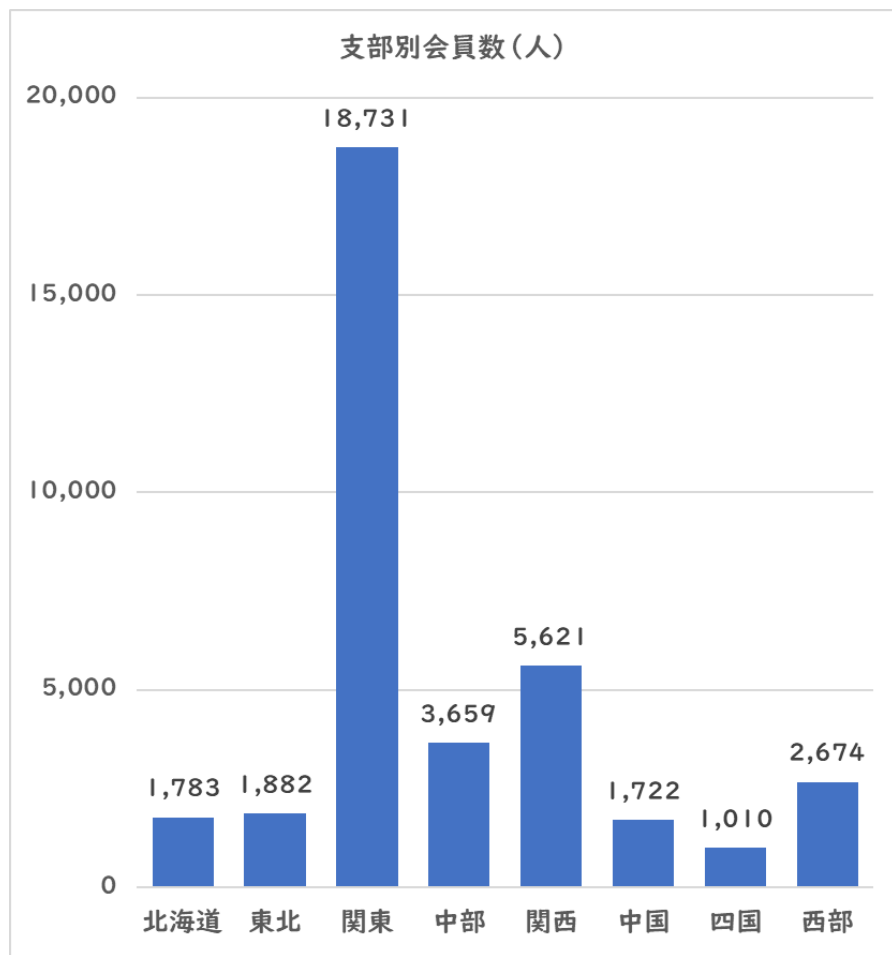
<https://committees.jsce.or.jp/member/composition>

業種別会員数



最新の会員数・会員構成
<https://committees.jsce.or.jp/member/composition>

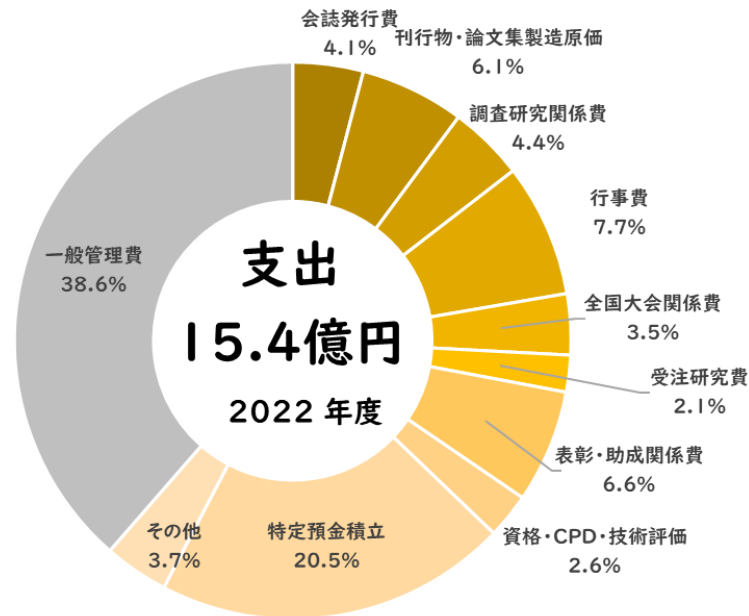
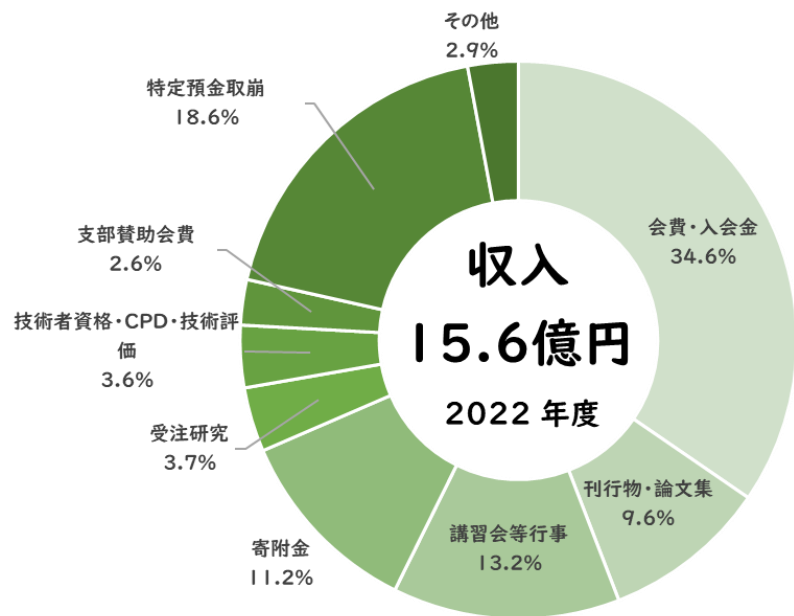
支部別会員数・属性別構成比



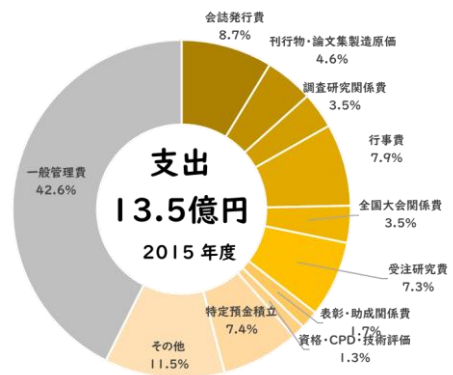
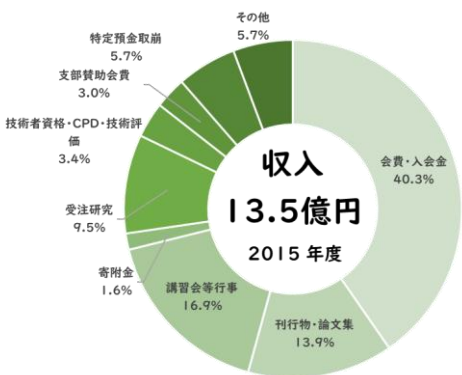
会計

- ◆ 収支
- ◆ 会費収入用途

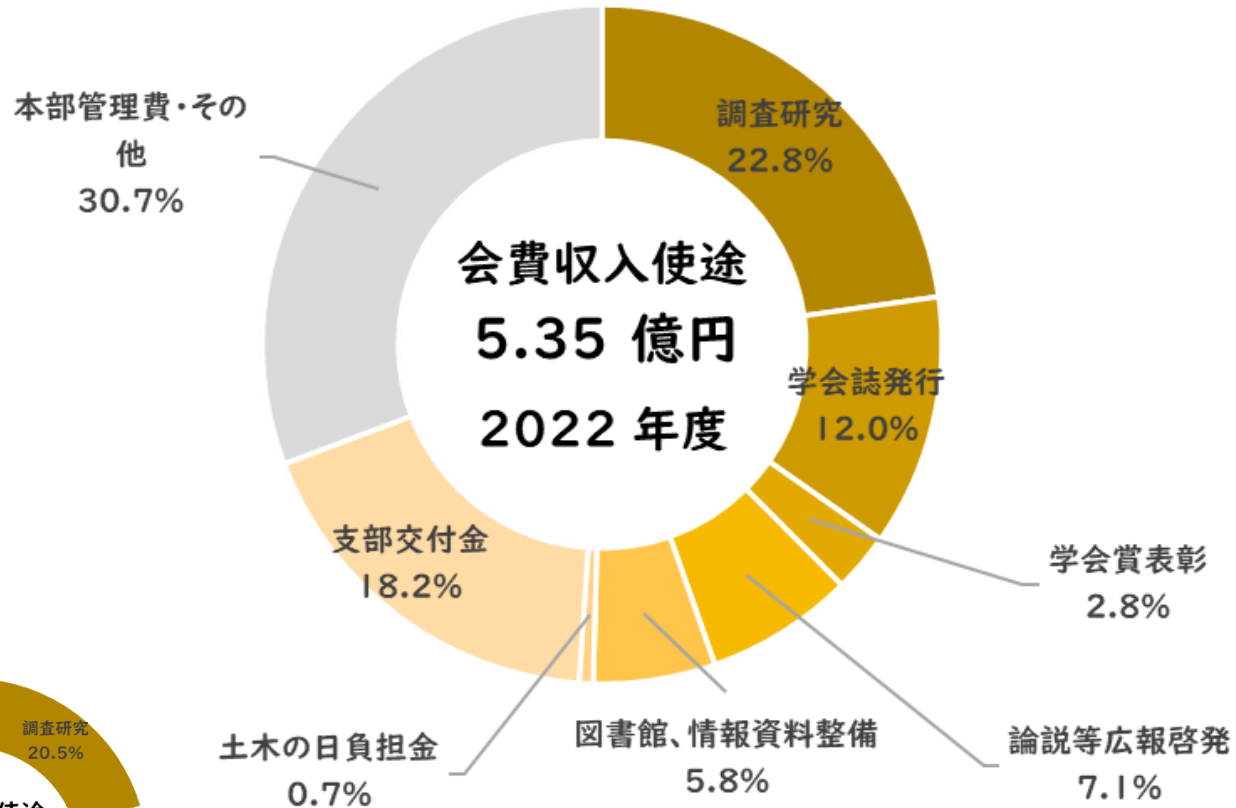
収支



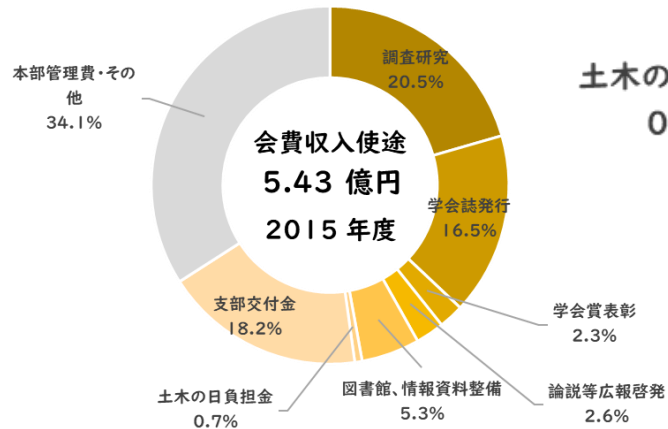
◆ 収支ともに2015年度と比較して約2億円増



会費収入使途



◆会費を充当する事業では
広報啓発の割合が増加

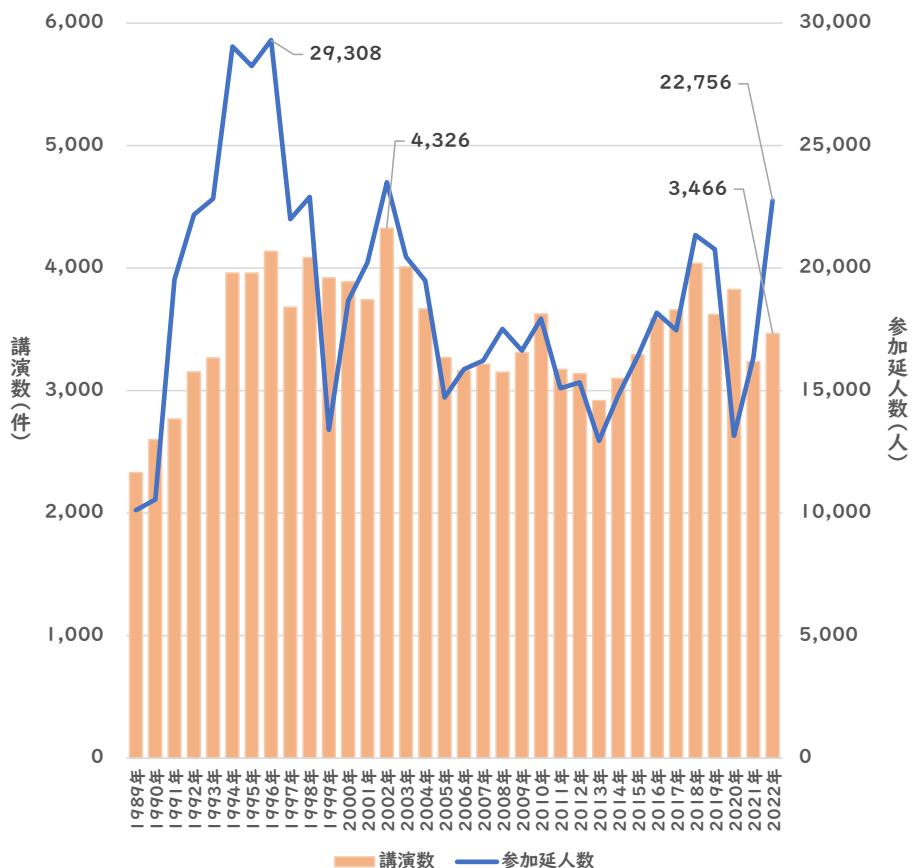


行事

- ◆ 全国大会
- ◆ 年次学術講演会
- ◆ 調査研究行事

全国大会

講演数と参加延人数

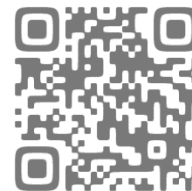


◆2022年度の全国大会は、
参加延人数：22,756人

講演数：3,466件

◆参加延人数・講演数とも

ピーク時の2割減

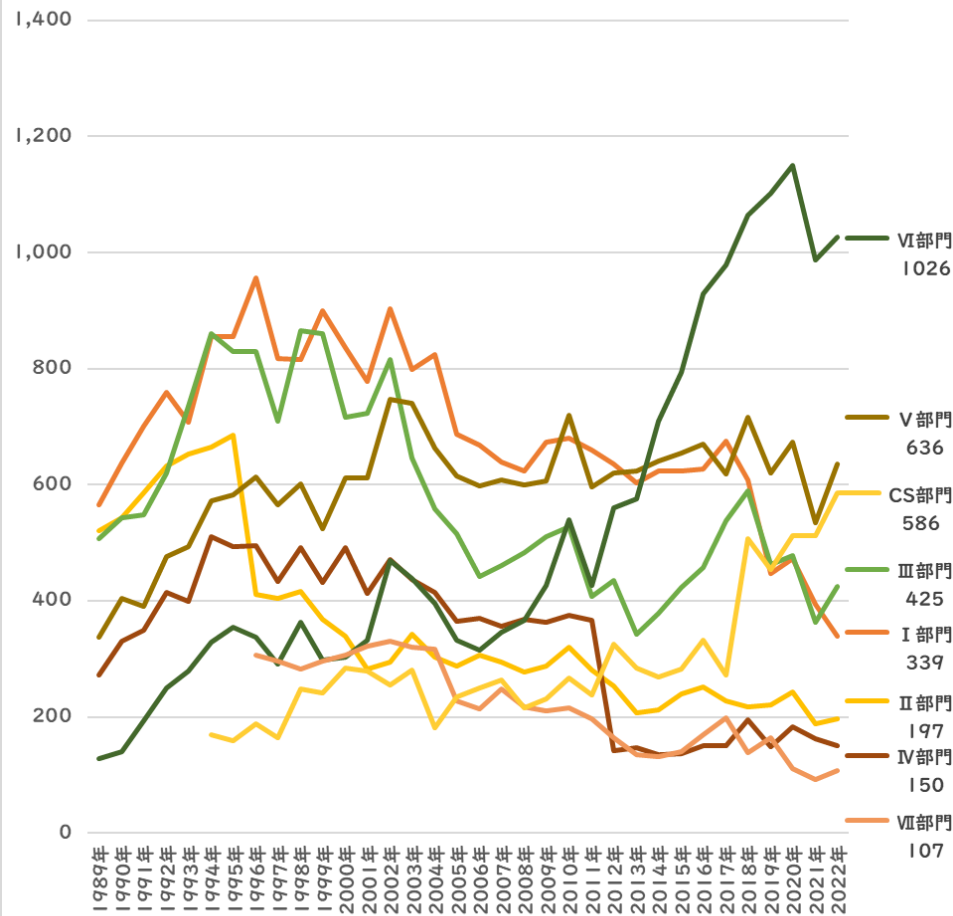


土木学会全国大会

<https://committees.jsce.or.jp/zenkoku/>

年次学術講演会

部門別講演数



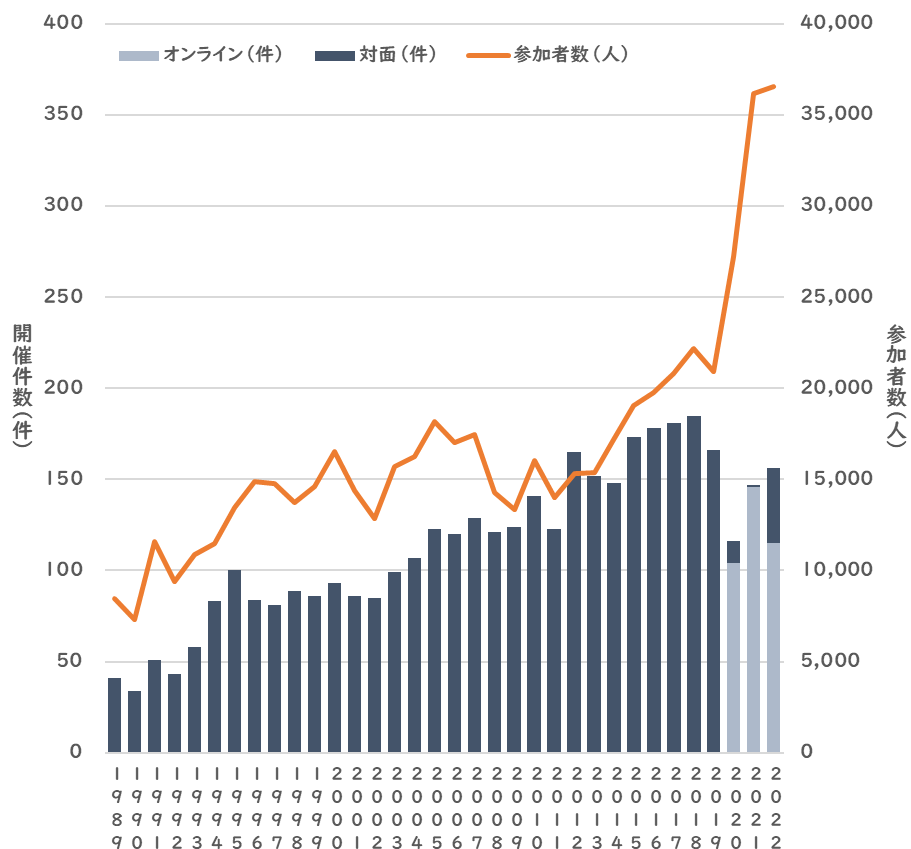
◆近年は**第VI部門**の講演が大幅に増加

部門	内容
I部門	応用力学、構造工学、鋼構造、風工学 等
II部門	水理学、水文学、河川工学、水資源工学、港湾工学、海岸工学、海洋工学、環境水理 等
III部門	土質力学、基礎工学、岩盤工学、土木地質、地盤環境工学等
IV部門	土木計画、国土・地域・都市計画、交通計画、交通現象分析、交通運用管理、景観・デザイン、土木史、測量 等
V部門	土木材料、舗装工学、コンクリート工学、コンクリート構造、木材工学 等
VI部門	建設事業計画、設計技術、積算・契約・労務・調達、施工技術、環境影響対応技術、維持・補修・保全技術、建設マネジメント 等
VII部門	環境計画・管理、環境システム、用排水システム、廃棄物、環境保全 等
CS部門	共通セッション（土木教育、D&I、公募テーマ）

調査研究行事（本部）



行事開催件数と参加者



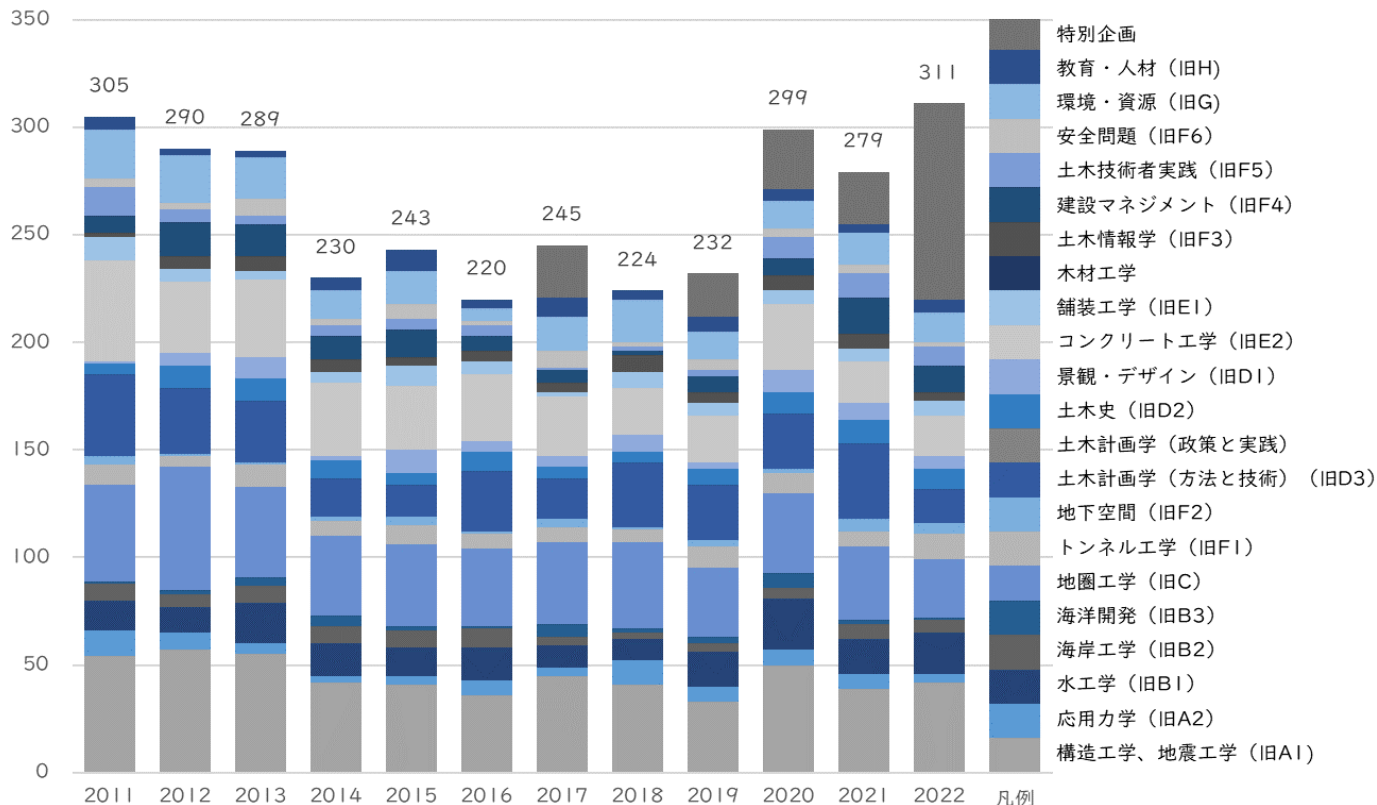
- ◆ 行事開催件数は年々増加していたがコロナ禍で大きく減少
- ◆ コロナ禍以降、オンライン（ハイブリッド含む）の割合が高まる
- ◆ オンラインが主流となって以降参加者数は大幅増

刊行物

- ◆ 論文集（通常号）
- ◆ 論文集（特集号）
- ◆ 刊行物
- ◆ 売上部数ランキング

論文集 (通常号)

論文集 (通常号) 掲載本数



◆オンラインジャーナルとして、J-STAGE上で公開

◆公開後1年を経過した論文はオープンアクセス

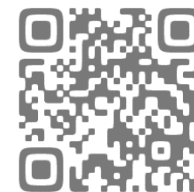
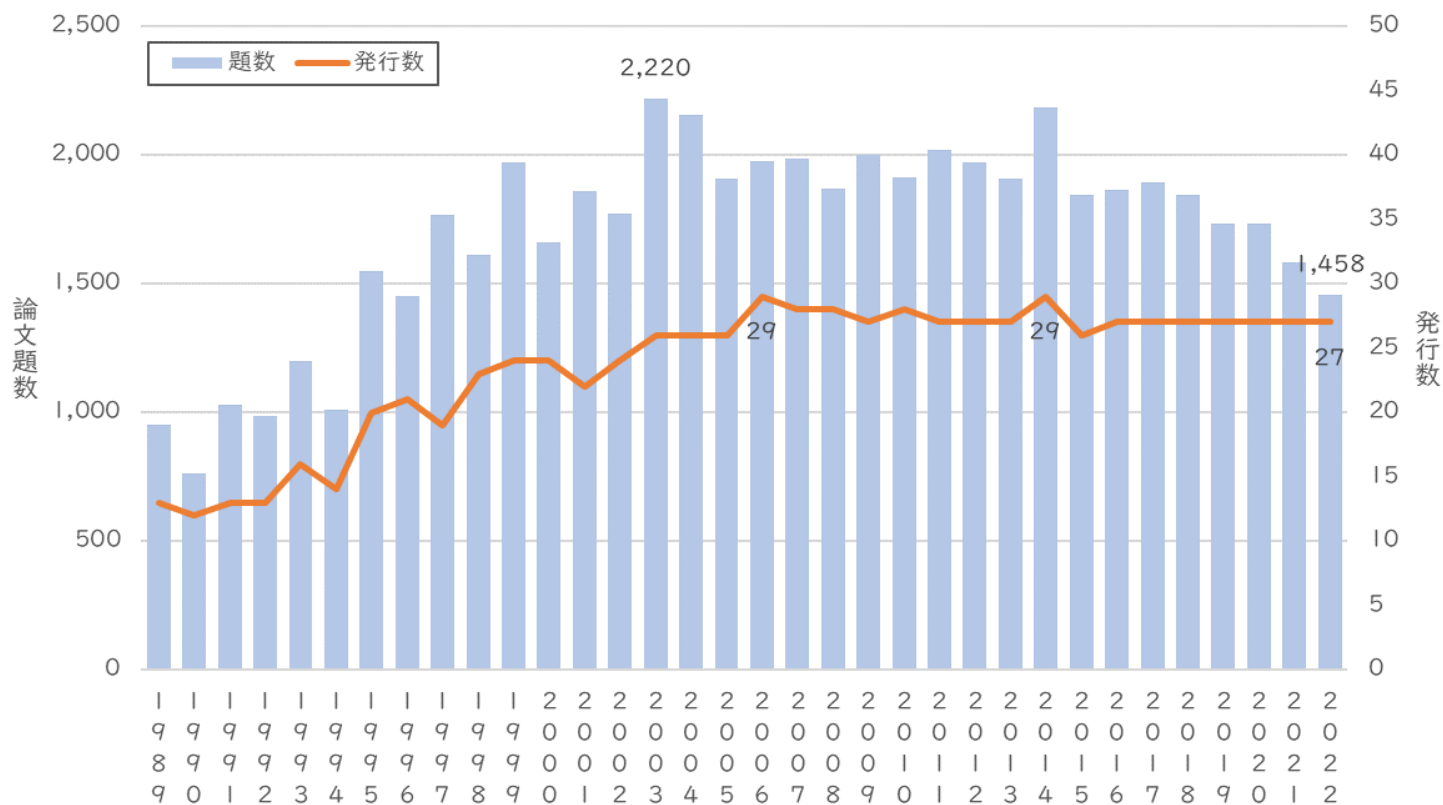


土木学会論文集HP

<https://www.jsce.or.jp/collection/>

論文集 (特集号)

論文集 (特集号) 掲載本数

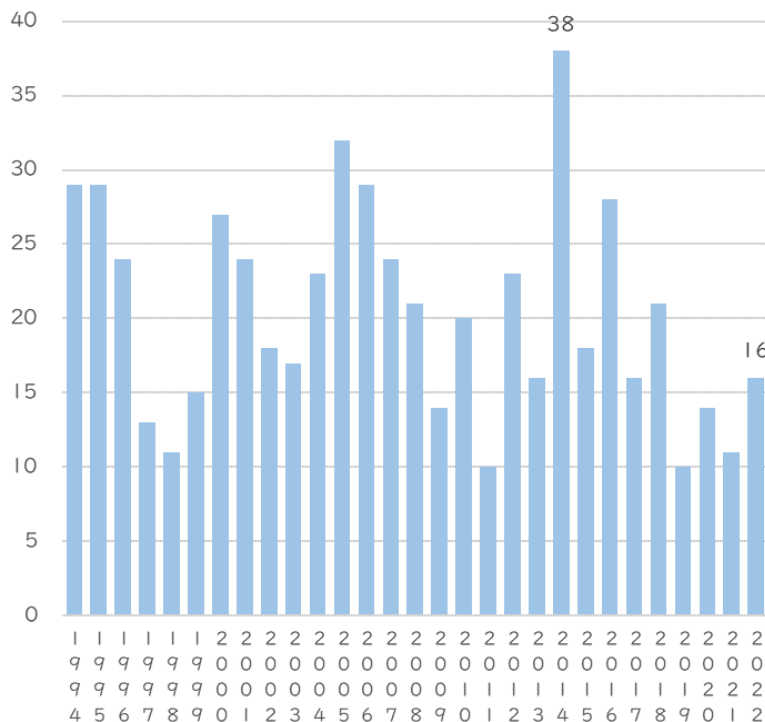


土木学会論文集HP

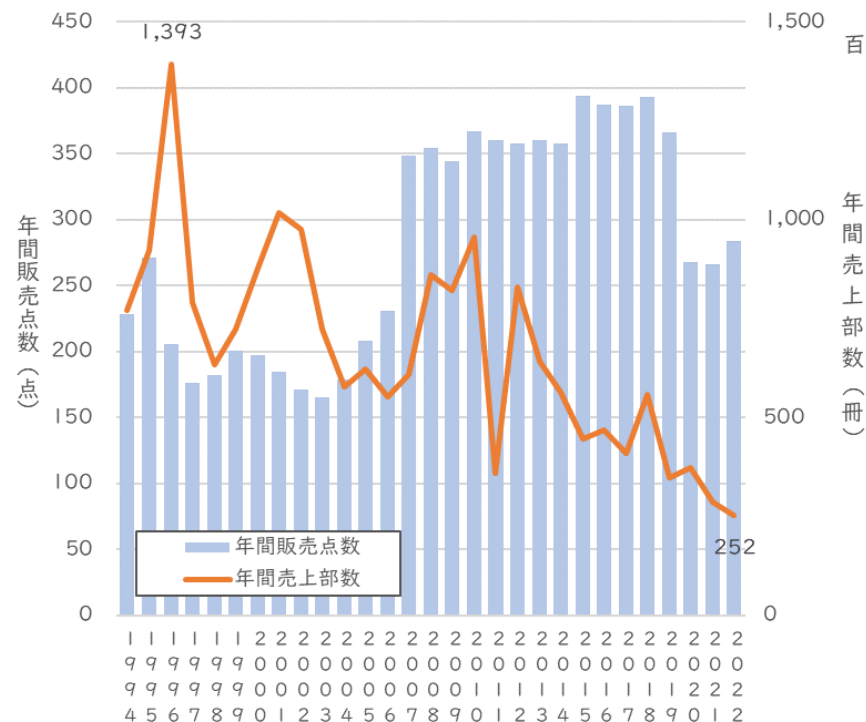
<https://www.jsce.or.jp/collection/>



新刊発行点数



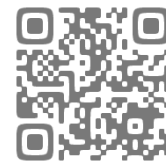
刊行物取扱実績



◆2022年度の新刊は**16点**

◆年間販売点数は増加しているが、売上部数はピークの1/5以下

売上部数ランキング



2022年度 売上部数ベスト10(すべての出版物)

(対象期間:2022年4月1日~2023年3月31日)

	書名	担当委員会名	売上部数	発行年月	定価(円) (本体価格)
1	土木材料実験指導書 2023年改訂版	コンクリート委員会	2,735	2023年3月	1,600
2	2017年制定 コンクリート標準示方書[施工編]	コンクリート委員会	1,545	2018年3月	5,500
3	土質試験のてびき 第三版	地盤工学委員会	726	2015年2月	1,300
4	CL160 コンクリートのあと施工アンカー工法の設計・施工指針(案)	コンクリート委員会	674	2022年1月	4,500
5	2018年制定 コンクリート標準示方書[規準編]	コンクリート委員会	587	2018年10月	13,000
6	2018年制定 コンクリート標準示方書[維持管理編]	コンクリート委員会	561	2018年10月	6,000
7	2017年制定 コンクリート標準示方書[設計編]	コンクリート委員会	557	2018年3月	8,000
8	実務に役立つ耐震設計入門-2022年改訂版-	地震工学委員会	541	2022年7月	3,400
9	知っておきたい斜面のはなしQ&A -斜面の災害に備える-	地盤工学委員会	520	2022年1月	1,200
10	土木製図基準2009年改訂版	土木製図基準改訂委員会	517	2009年2月	3,800

2022年度 売上部数ベスト10(示方書、教材図書を除く出版物)

(対象期間:2022年4月1日~2023年3月31日)

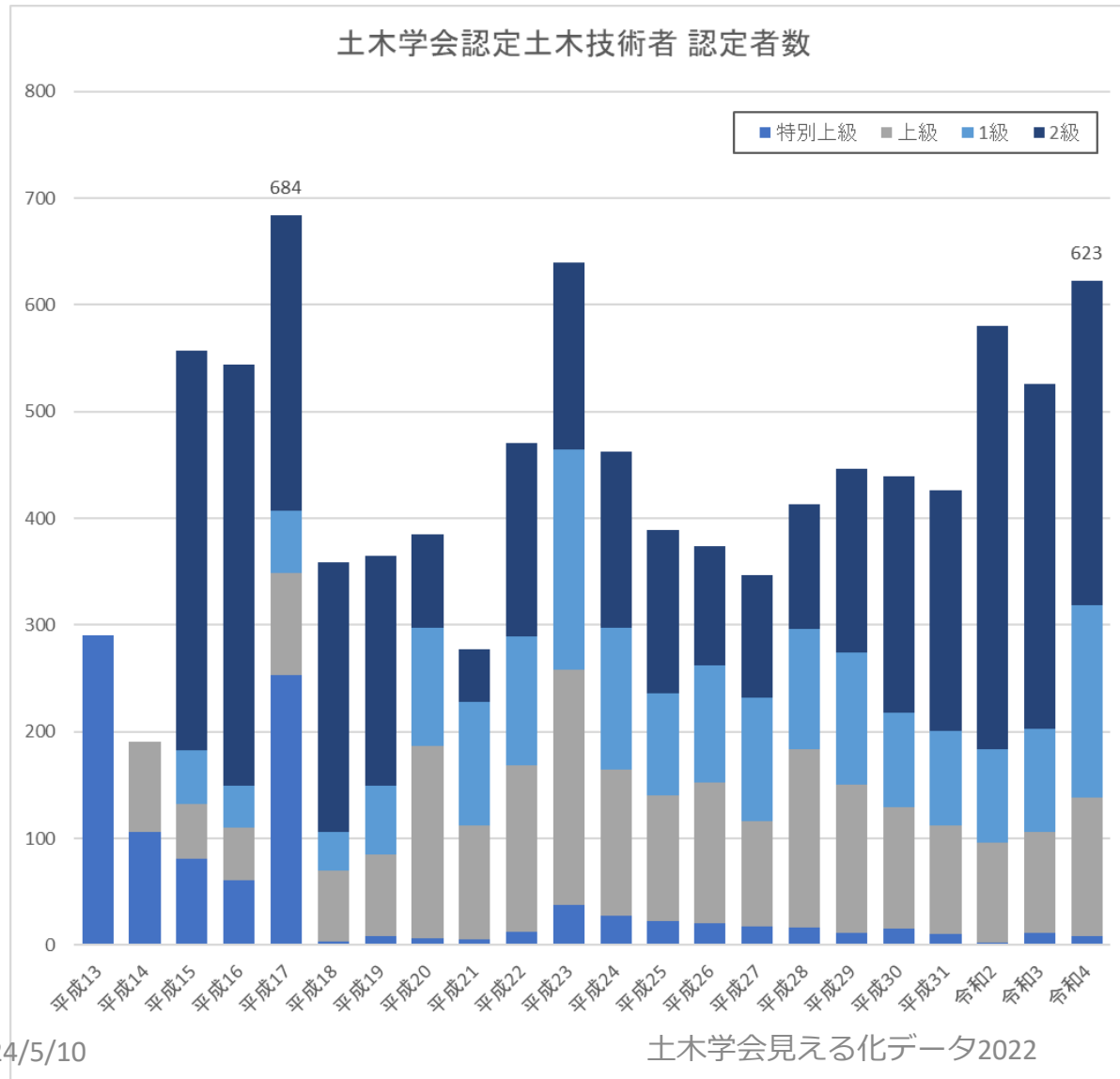
	書名	担当委員会名	売上部数	発行年月	定価(円) (本体価格)
1	CL160 コンクリートのあと施工アンカー工法の設計・施工指針(案)	コンクリート委員会	674	2022年1月	4,500
2	実務に役立つ耐震設計入門-2022年改訂版-	地震工学委員会	541	2022年7月	3,400
3	知っておきたい斜面のはなしQ&A -斜面の災害に備える-	地盤工学委員会	520	2022年1月	1,200
4	日本インフラの「技(わざ)」	土木学会誌編集委員会	501	2022年12月	1,400
5	モニタリング技術活用のための指針(案)	インフラメンテナンス総合委員会	416	2022年6月	4,400
6	CL156 鉄筋定着・継手指針[2020年版]	コンクリート委員会	409	2020年3月	3,200
7	仮設建造物の計画と施工[2010年改訂版]	建設技術研究委員会	404	2010年10月	6,000
8	Beyondコロナの日本創生と土木のビッグピクチャー[提言]	コロナ後の「土木」のビッグピクチャー特別委員会	397	2023年3月	1,500
9	PL18ブロック系舗装入門	舗装工学委員会	382	2023年1月	3,400
10	鋼構造架設設計施工指針 2012年改訂版	鋼構造委員会	323	2012年5月	4,400



技術者教育

- ◆土木学会認定土木技術者
申込者・合格者・認定者
- ◆CPD認定プログラム
分野
開催地

土木学会認定土木技術者



◆近年は認定者数が増加傾向

◆上級・1級の認定が増加している

特別上級土木技術者

専門分野における高度な知識および豊富な経験に基づく広範な見識により、日本を代表する技術者として土木界さらには社会に対して、多面的に貢献できる能力。

上級土木技術者

複数の専門分野における高度な知識、あるいは少なくとも1つの専門分野における豊富な経験に基づく見識を有し、重要な課題解決に対してリーダーとして任務を遂行する能力。

1級土木技術者

少なくとも1つの専門分野における高度な知識を有し、自己の判断で任務を遂行する能力。

2級土木技術者

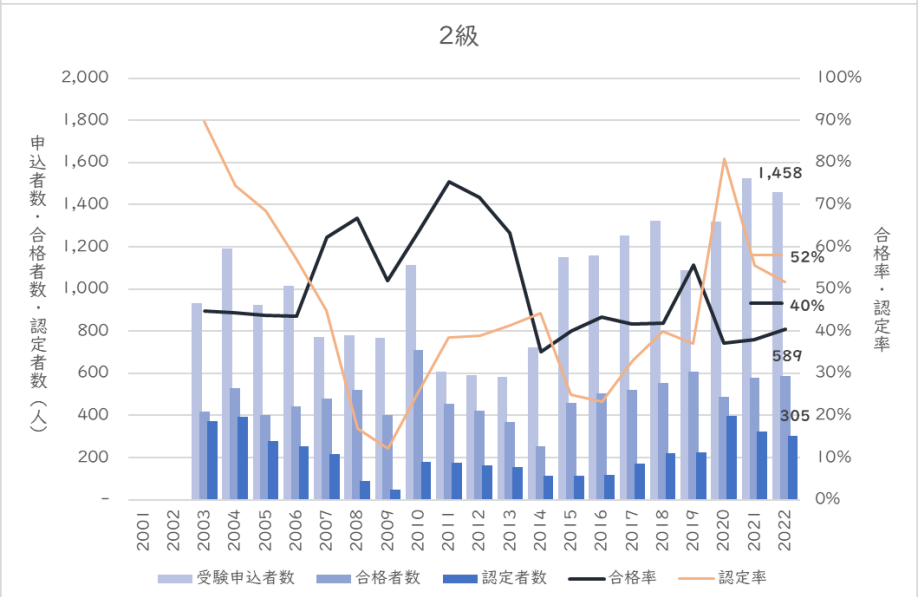
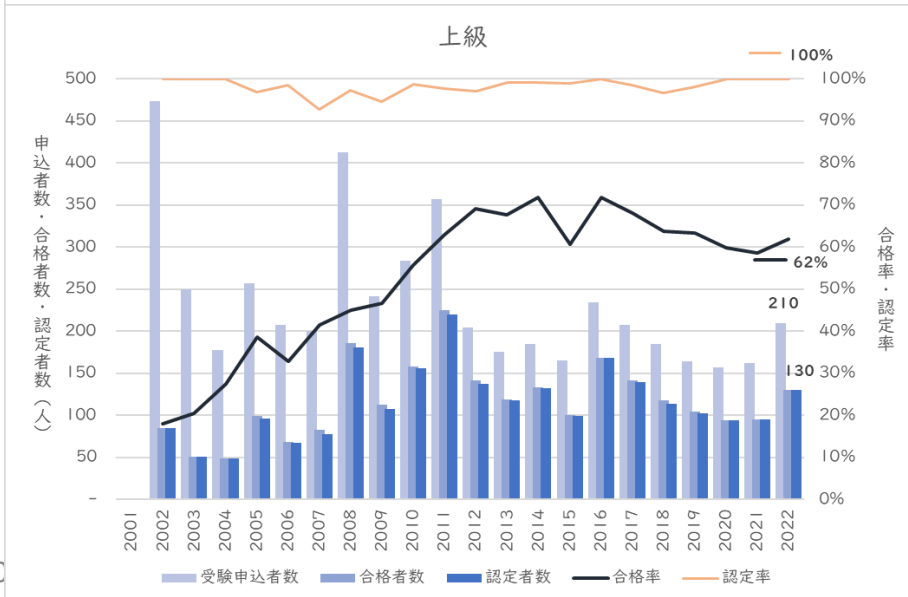
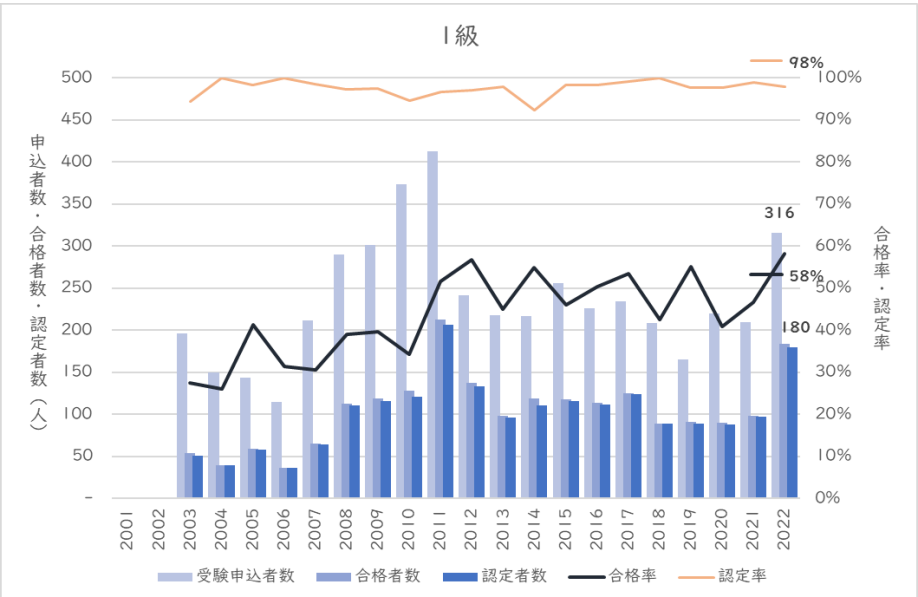
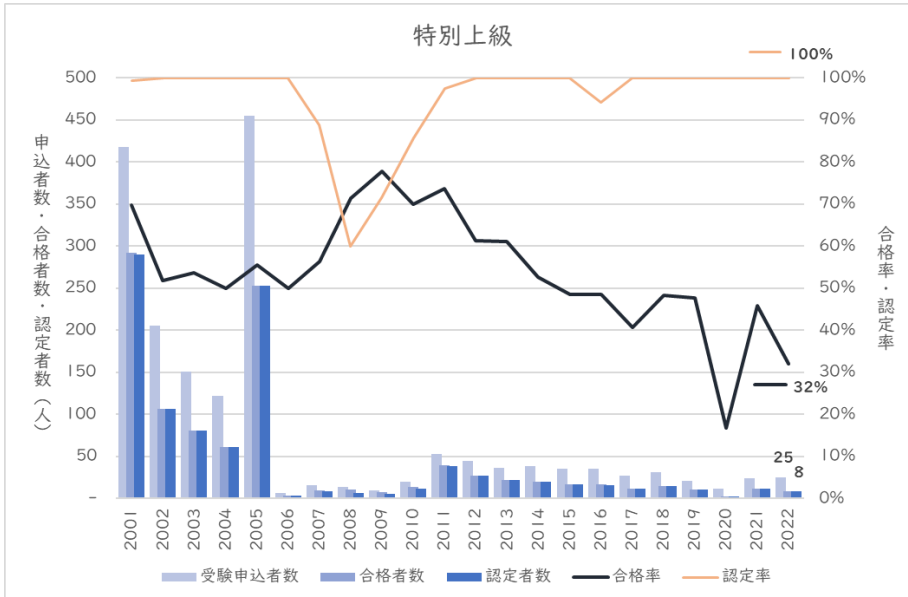
土木技術者として必要な基礎知識を有し、与えられた任務を遂行する能力。



土木学会認定土木技術者制度

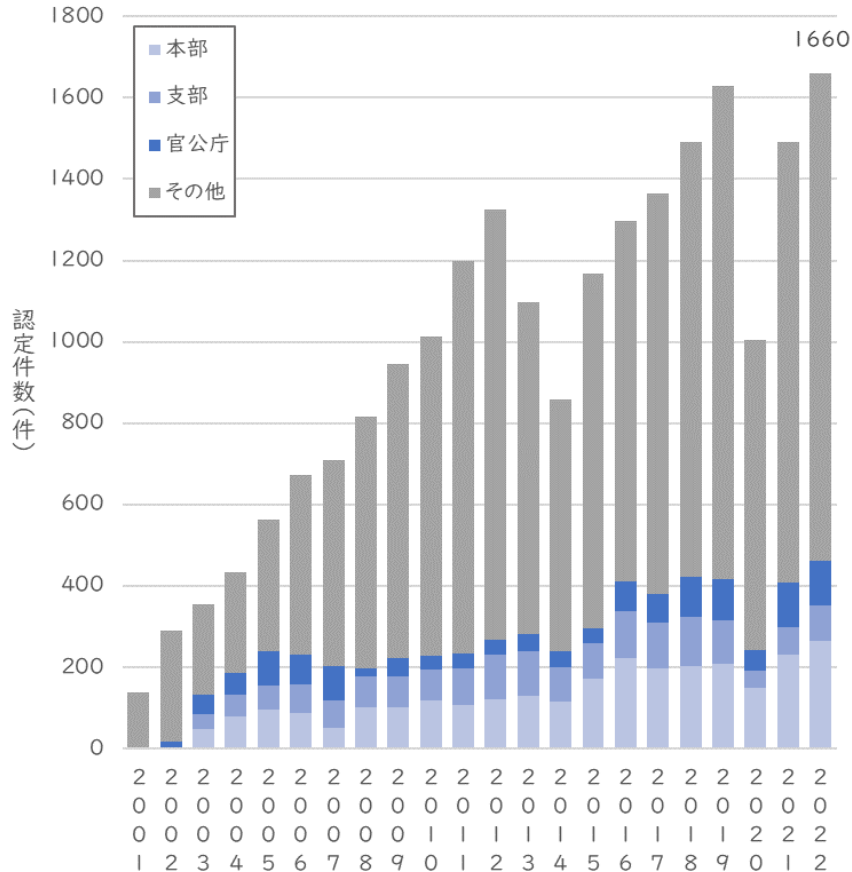
<https://committees.jsce.or.jp/opcet/shikaku>

申込者・合格者・認定者



CPD認定プログラム（件数）

プログラム認定数（主催者別）



- ◆CPDプログラム認定件数は、右肩上がり増加
- ◆コロナ禍の2020年には大きく落ち込んだが、2022年は過去最高となる**1660件**のCPDプログラム認定件数

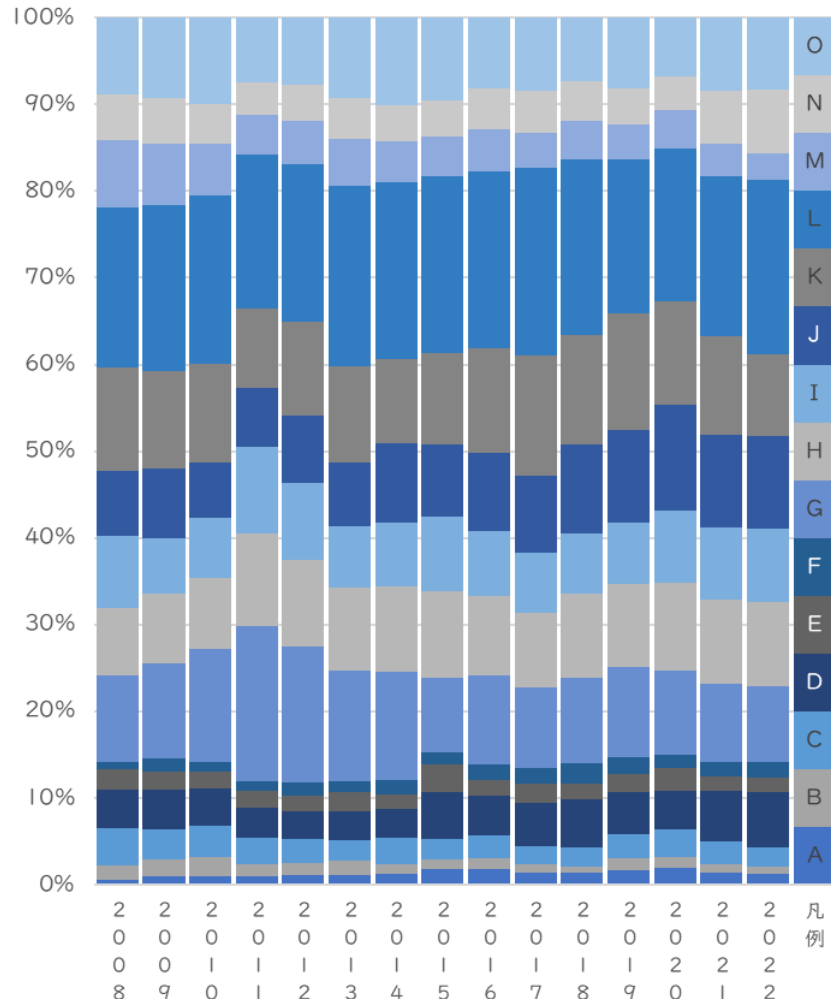


土木学会CPD制度

<https://committees.jsce.or.jp/opcet/cpd>

CPD認定プログラム（分野）

認定分野



◆CPD認定プログラムの内容は
 マネジメント関連が多い
 ※1つのプログラムで
 複数分野の内容がある

教育分野

■ I 基礎共通分野

- A: 倫理 倫理規定, 技術倫理, 職業倫理, など
- B: 一般科学 数学, 物理, 化学, 生物学, 統計学, 数値解析, など
- C: 環境 地球環境問題, 生態学, など
- D: 社会経済動向 国内外の社会動向, 産業経済動向, など
- E: 法令等関連制度 関連法令・省令・条例, 知的財産権法, 契約制度, など
- F: その他 歴史, 経済, 文学, 技術史, 語学, プレゼンテーション力, コミュニケーション力, ITリテラシー, など

■ II 専門技術分野*

- G: I 応用力学, 構造工学, 鋼構造, 耐震工学, 地震工学, 風工学, など
- H: II 水理学, 水文学, 河川工学, 水資源工学, 港湾工学, 海岸工学, 海洋工学, 環境水理, など
- I: III 土質力学, 基礎工学, 岩盤工学, 土地地質, 地盤環境工学, など (主な論点が地盤工学に関するものであること)
- J: IV 土木計画, 地域都市計画, 国土計画, 交通計画, 交通工学, 鉄道工学, 景観・デザイン, 土木史, 測量, など
- K: V 土木材料, 舗装工学, コンクリート工学, コンクリート構造, など
- L: VI 建設事業計画, 設計技術, 積算・契約・労務・調達, 施工技術, 環境影響対応技術, 維持・補修・保全技術, 建設マネジメント, など (主な論点が建設事業に関するものであること)
- M: VII 環境計画・管理, 環境システム, 用排水システム, 廃棄物, 環境保全, など

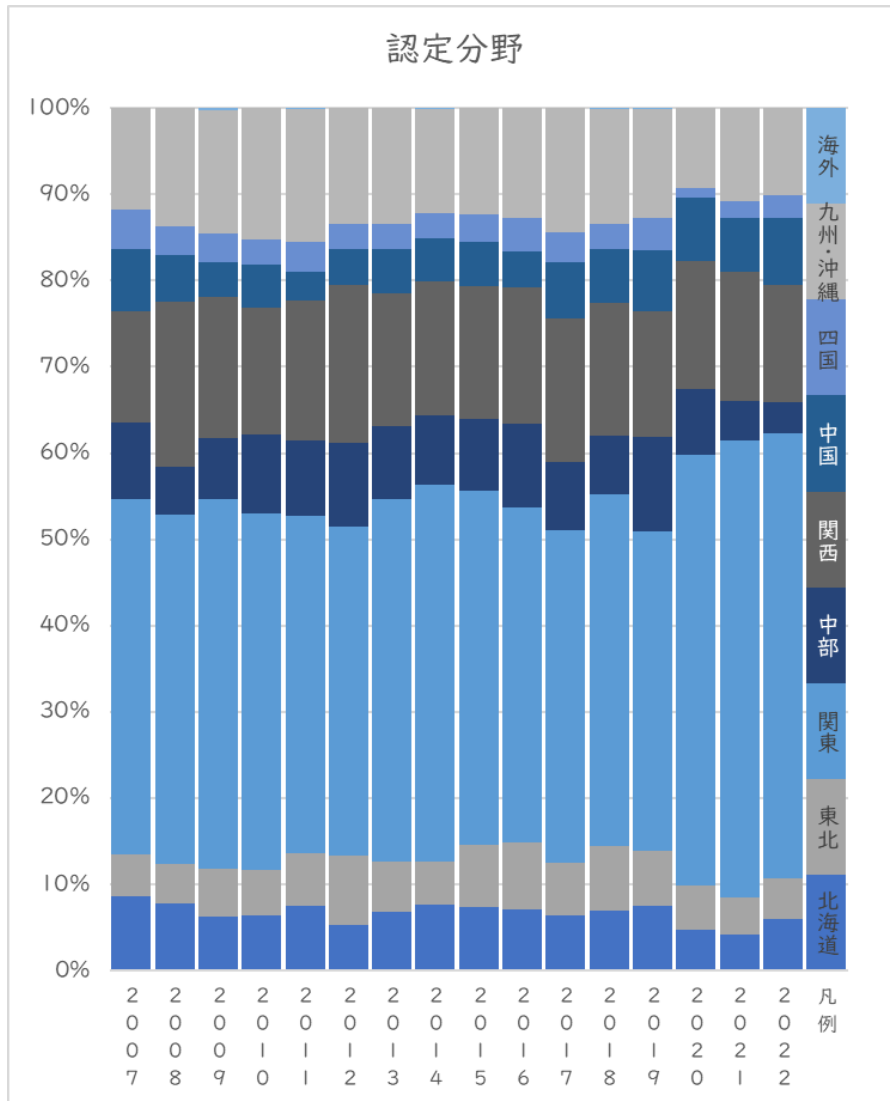
■ III 周辺技術分野

- N: 環境アセスメント, 環境調査, 情報工学, コミュニケーション・プレゼンテーション技術, 情報化技術, プログラミング, など

■ IV 総合管理分野

- O: 建設生産システム (CM, PM), 品質保証, 安全管理, リスクマネジメント, 公共経済学, 社会資本整備論, など

CPD認定プログラム（開催地）



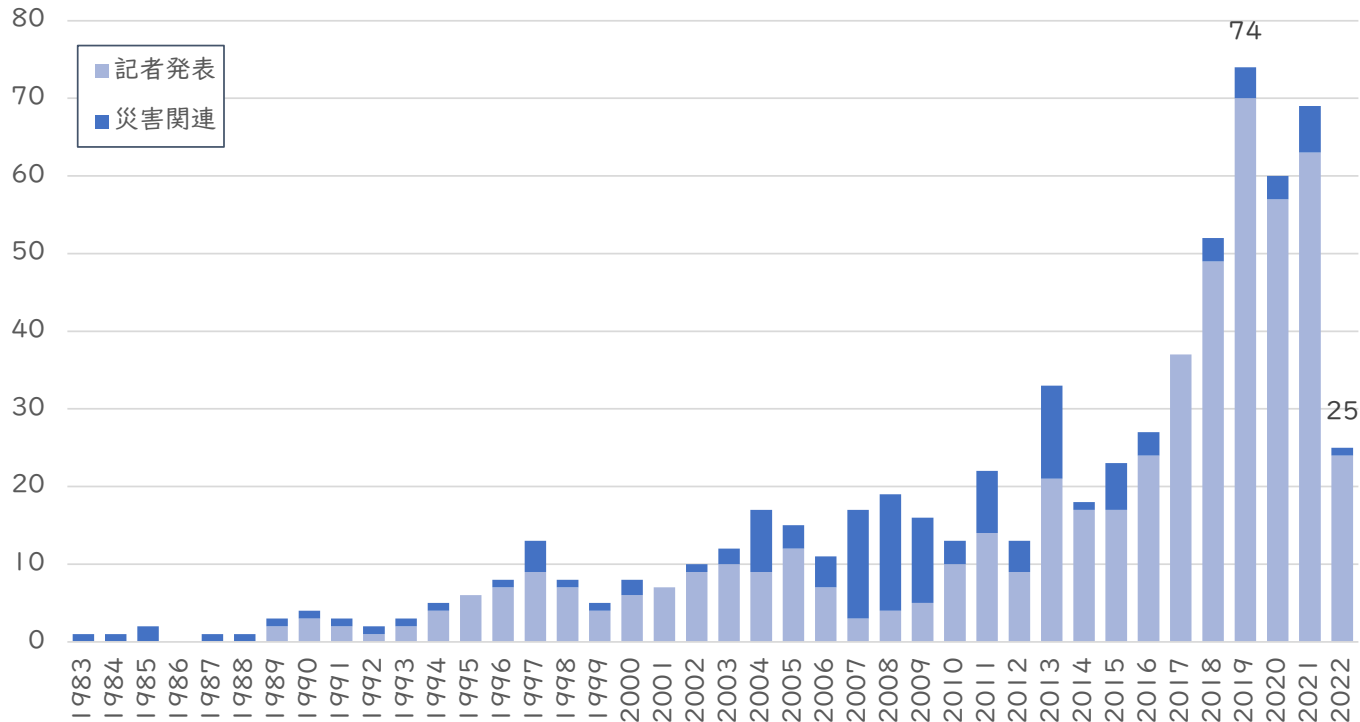
- ◆ 関東地区での開催が半数以上を占めており、地方での受講機会の提供に課題がある

広報発信

- ◆記者発表件数
- ◆メディア掲載件数

記者発表件数

記者発表件数の推移（件）



◆2022年度の発表件数は、ピーク時（2019年度）の1/3

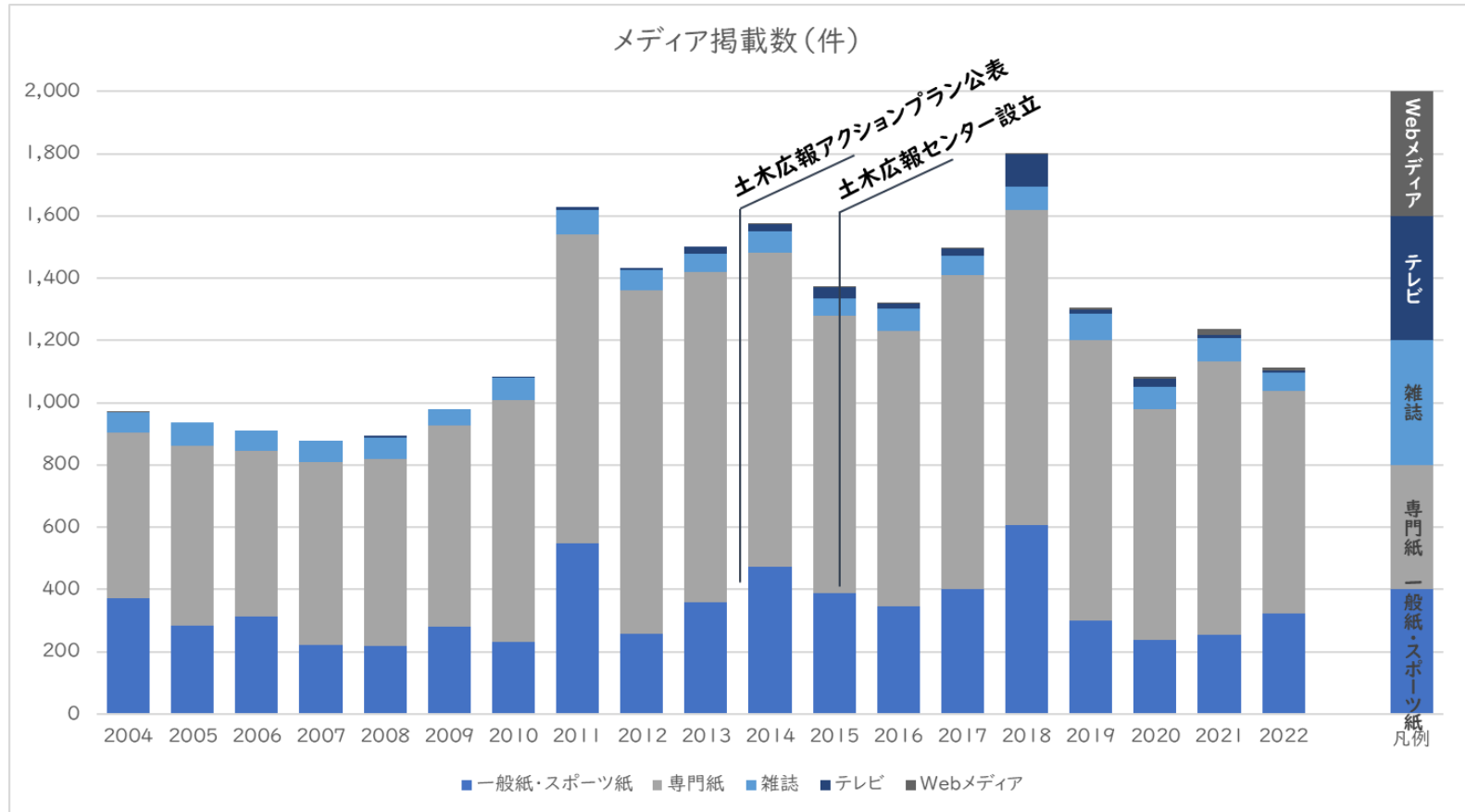


土木広報センター News Release

<https://committees.jsce.or.jp/cprcenter/taxonomy/term/9>

土木学会見える化データ2022

メディア掲載件数



◆ 東日本大震災後に掲載数が急増し、しばらく増加傾向にあったが近年は震災前と同程度の水準に戻りつつある

土木学会SNS

Japan Society of Civil Engineers
土木学会
http://www.jsce.or.jp/

土木学会
47,669 フォロワー

ページをフォロー

詳しくはこちら

<https://www.facebook.com/JSCE.jp/>

土木学会tv

土木学会tv / JSCEtv

@JSCEtv · チャンネル登録者数 2700人 · 515本の動画

土木学会は、1914年11月24日に社団法人として設立された。土木技術者の真摯な向上を期し、もって学術文化の進展と社会の発展に寄与することを目的とし、さまざまな活動を展開しています。

jsce.or.jp、他4件のリンク

チャンネルをカスタマイズ 動画を管理

<https://www.youtube.com/JSCEtv>

doboku_jsce

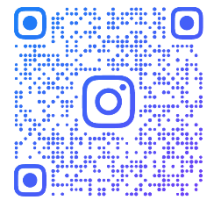
投稿543件 フォロワー1021人 フォロワー中87人

(公社) 土木学会

国内有数の工系団体である土木学会は、「土木工学の進歩および土木事業の発達ならびに土木技術者の真摯な向上を期し、もって学術文化の進展と社会の発展に寄与する」ことを目指し、さまざまな活動を展開しています。

過去30日間に831件のアカウントにリーチしました。 [インサイトを見る](#)

Join civil engineers



@DOBOKU_JSCE

note

え、工事現場の人...? だけじゃない!?
生活の中で「あたりまえ」にあるものは
実は、土木が支えているんです!

公益社団法人土木学会【公式note】

土木学会は「土木工学の進歩および土木事業の発達ならびに土木技術者の真摯な向上を期し、もって学術文化の進展と社会の発展に寄与する」ことを目指し活動しています。学会公式として特定の場所に限定することなく、学会の活動・事業を中心に土木を発信します。

185 フォロワー 1,423 フォロワー

令和6年能登半島地震 公益社団法人土木学会 会長特別調査団 記者会見 所見(暫定)

<https://note.com/jsce>

土木学会note支部

土木学会公式noteと連動した、土木学会関係の、公式noteの情報をほぼ学会公式発信します。薪火で受け継いでも、ポスト学会の発展とは異なります。フォローはいます。

529 フォロワー 2,560 フォロワー

https://x.com/JSCE_note

SHOW

土木学会RADIO

LISTEN ON Spotify

<https://open.spotify.com/show/3r4psIVPAzIBvL9urQpSEI>

土木学会学生小委員会

土木学会学生小委員会の公式twitterです。木系の学生の皆さん、そして先輩方、ぜひ2022年1月からtwitterを利用して！

90 フォロワー 175 フォロワー

https://x.com/doboku_gakusei

見える化データ2022 掲載データ

	部門	解説	期間
組織図	総務	2022年時点の土木学会の組織図	
会員数	会員・支部	会員数の推移	1914～
年齢別会員数	会員・支部	年齢別個人正会員数の推移	2001～
業種別会員数	会員・支部	業種別会員数の推移	2015～
海外会員数	国際/会員・支部	海外会員数の推移	2007～
支部別会員数・構成比	会員・支部	支部別会員数、支部別属性別構成比	2022
収入	経理	事業活動別収入	2013～
支出	経理	事業活動別支出	2013～
会費収入使途	経理	会費収入使途	2013～
全国大会	総務	全国大会参加者数	1989～
学会賞	総務	学会賞受賞件数	1965～
選奨土木遺産	総務	認定遺産リスト・施設種類別認定件数等	2000～
調査研究委員会活動	調査研究	委員会活動参加者数	2004～
調査研究行事数	調査研究	調査研究部門開催行事一覧	1989～
調査研究定期行事	調査研究	調査研究部門定期開催行事一覧	1989～
論文集通常号	調査研究	論文集通常号掲載件数	2011～
論文集特集号	調査研究	論文集通常号掲載件数	1989～
重点研究課題	調査研究	重点課題件数、助成金額	2003～
刊行物販売	出版	刊行物販売実績（売上額、点数、新規発行）	1989～
図書売上ベスト10	出版	年間売上ベスト10	2018～
図書館利用者	情報資料	土木図書館利用実績	1995～
国内災害調査団実績	社会支援	国内で発生した災害の調査団派遣実績	1998～
海外災害調査団実績	社会支援	海外で発生した災害の調査団派遣実績	1999～

	部門	解説	期間
土木技術者資格	技術推進機構	土木学会認定土木技術者 受験者数・合格者数	2001～
CPDプログラム	技術推進機構	土木学会認定CPDプログラム件数	2001～
土木コレクション	コミュニケーション	土木コレクション開催実績	2014～
国際ジョイントセミナー	国際	国際ジョイントセミナー開催実績	2004～
イブニングシアター	情報資料	イブニングシアタータイトル・来場者数	2001～
メディア掲載	コミュニケーション	各種メディアで土木学会が取り上げられた件数	2004～
記者発表	コミュニケーション	土木学会で行った記者発表・プレスリリース件数	1983～
論説・オピニオン	企画	論説/論説・オピニオン一覧	2007～
HPアクセス	情報資料	土木学会HPのアクセス数	2008～
facebook	コミュニケーション	土木学会facebookのフォロワー数推移	2012～
教育企画行事	教育企画	教育企画部門 行事一覧	2004～
会長特別	企画	会長特別活動とその成果	1999～

スライド掲載データ

◆ データは以下URLにEXCEL形式で掲載しています
<https://committees.jsce.or.jp/kikaku/mieruka2022>





公益社団法人 **土木學會**
Japan Society of Civil Engineers